

全国都市緑化フェアの横浜開催について

1 全国都市緑化フェアの概要（「全国都市緑化フェア開催要綱」一部抜粋）

（1）開催目的

都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とする。昭和 58 年から開催。

（2）主催等

- ア 主催：開催地の地方公共団体、（公財）都市緑化機構
（主催者は、基本構想を審議する懇談会、フェア実施及び運営のための実行委員会を設置する）
- イ 提唱：国土交通省

（3）開催期間等

- ア 全国各地で年 1 回開催
- イ 期間：1 箇月以上

（4）会場

都市公園又は都市公園の設置が予定されている場所を主な会場とする。

（5）内容等

- ア 都市緑化意識の高揚、知識・技術の普及等に関する事業（緑化展示、イベント等を展開）。
- イ 中心的行事として期間中に、秋篠宮同妃両殿下をお迎えして「全国都市緑化祭」（1 日）を開催。

2 横浜開催に向けた検討状況

（1）本市開催の考え方

- ア 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）に位置付けた「都心臨海部の緑花による賑わいづくり」の推進をはじめ、郊外部での緑の取組も含めて、緑や花で美しい街 横浜を内外にアピール。
- イ 緑と花が身近にある市民のライフスタイルを定着させ、全市的に各種イベントと連携し効果的な事業展開を行いながら、横浜の新たなブランドイメージとしてプロモーションを行う。

（2）開催時期

平成 29 年春

（3）会場

都心臨海部の山下公園やグランモール公園等を活用

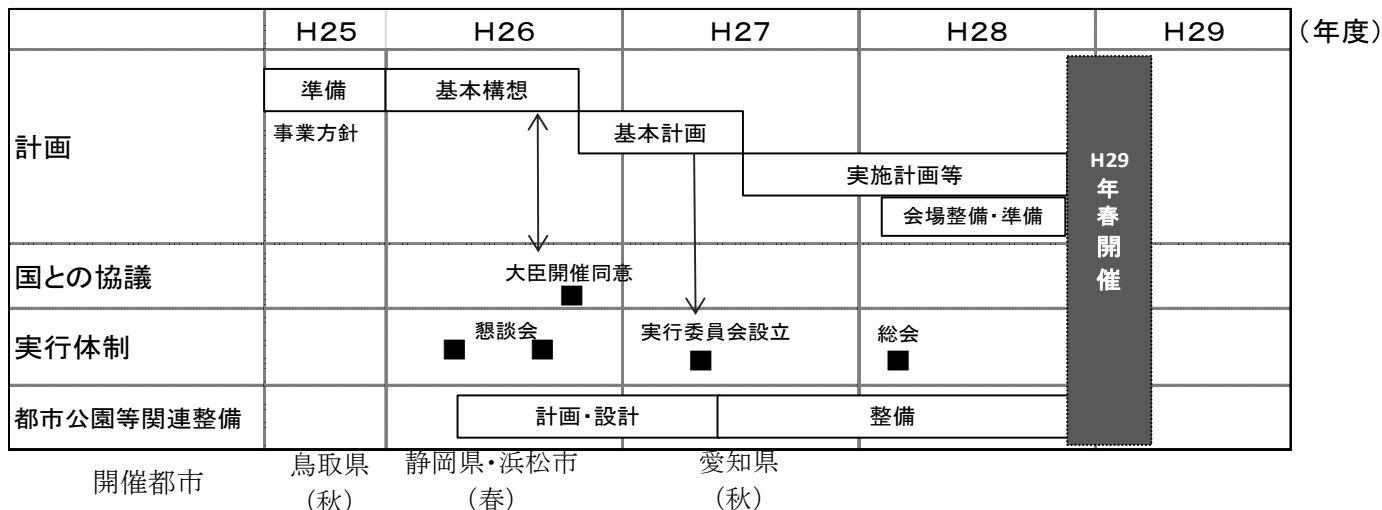
3 26 年度の予定

学識経験者、経済団体等の有識者による懇談会を開催し、市民意見の募集や国土交通省等との調整を行い、基本構想案（フェアの会場や事業規模等の考え方）の策定を進める。

26 年度内に国土交通大臣の開催同意を得て、基本計画の策定に着手するとともに、27 年度の実行委員会の設立及び関連整備に向けて取り組む。

—参考資料—

〈今後の検討スケジュール（イメージ）〉



〈近年の開催状況〉

開催回数	開催期間	地方公共団体	主会場	来場者数
第 27 回 (平成 22 年度)	9/18 ~ 11/14 (58 日間)	奈良県、広陵町・河合町	馬見丘陵公園	210 万人
第 28 回 (平成 23 年度)	3/18 ~ 5/22 (66 日間)	鹿児島県、鹿児島市	吉野公園、鹿児島ふれあいスポーツランド	95 万人
第 29 回 (平成 24 年度)	9/29 ~ 10/28 (30 日間)	東京都	上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、日比谷公園、浜離宮恩賜庭園、海の森、国営昭和記念公園	516 万人
第 30 回 (平成 25 年度)	9/21 ~ 11/10 (51 日間)	鳥取県、鳥取市	湖山池公園	26 万人
第 31 回 (平成 26 年度)	3/21 ~ 6/15 (87 日間)	静岡県、浜松市	浜名湖ガーデンパーク、はままつフラワーパーク	80 万人

〈今後の開催予定〉

開催回数	開催期間	地方公共団体	主会場	目標来場者数
第 32 回 (平成 27 年度)	9/12 ~ 11/8 (58 日間)	愛知県	愛・地球博記念公園	100 万人

〈政令指定都市の開催状況〉

20 都市中、16 都市で開催済み。未開催は、横浜市、川崎市、静岡市、堺市の 4 都市。

〈神奈川県内での開催状況〉

開催回数	開催期間	地方公共団体	主会場	来場者数
第 9 回 (平成 4 年度)	10/3 ~ 11/23 (52 日間)	神奈川県、相模原市	相模原公園、相模原麻溝公園	181 万人

〈平成 26 年全国都市緑化祭(第 31 回全国都市緑化しずおかフェア) 4.15(火)浜名湖ガーデンパーク〉

